

事業計画書

事業名	親子で安心、子ども達が楽しく育つ居場所づくり事業
団体名	なないろのもり

事業概要

コロナ禍で学校行事や地域のイベントなどの中止が相次ぎ、子どもの発達期に必要な経験や出会いの機会が奪われている。子ども達のメンタルヘルスを最優先に子ども達や子育て世代の家庭に寄り添う地域コミュニティを構築し、親子一緒にも参加できる、子ども達の楽しい長期休みの思い出づくりの機会や学校と家庭以外の安心できる居場所づくり。

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>コロナ禍における子ども達の生活と健康の様子について今年8月に発表された国立成育医療センターのコロナ×こどもアンケートで、約75%の子ども達にストレス反応や症状があったと発表されました。</p> <p>学校再開後も感染対策、授業時間を取り戻すことが最優先され、子ども達にとって大きな楽しみである運動会、修学旅行などの行事は中止。夏休みも短縮され、代替イベントもなく、子ども達のメンタルケアは後回しになってしまっています。コロナ禍で外部とのコミュニケーションも遮断され、子ども達は友だちとの交流の機会を奪われてしまいました。また、その影響から、閉鎖的な生活をおくっている子育て世代も多いです。学校が再開されても、子ども達は規制やガマンが多く、その不安、ストレスが今後、心身にもたらす影響が心配な状況は続いています。</p> <p>松戸市は、2019年も日経 DUAL の共働き子育てしやすい街ランキング全国2位に選ばれ、待機児童4年連続ゼロや預かり保育、放課後児童クラブやKIDSルームの充実など支援が確実に進んでいますが、同年3月に発表された松戸市の子ども・子育て支援に関するアンケート調査において、施設の利用や環境への充実度を感じているのは、低年齢の子ども達やその子育て世代に集中していて、子ども達からは、「放課後に友だちとおしゃべりしたり、遊びや勉強、読書など自由に過ごしたりできる場所や施設を増やすこと」を望んでいる声が多く、「これからも松戸市に住み続けたいか」の回答は年齢があがるにつれ減少しています。大人目線での子育てのしやすさが優先されるのではなく、子ども達にとっての住みやすさも確保され、子育て世代全体にやさしい街づくりが求められていると考えます。</p>
事業の目的	<p>子ども達の家庭や学校、習い事以外の遊び・学びの場づくりを目的とします。親子一緒でも参加できるイベントや居場所を開催し、子どもも大人も一緒に楽しく過ごす時間を共有することで、子ども達は安心し、親たちは子育ての楽しさを実感できます。コロナ禍による閉塞感漂うこんな時こそ、そういった時間が必要不可欠ではないでしょうか。</p> <p>また、今後コロナの感染状況が、どのような状態であっても、安全第一に柔軟に対応できるように準備し、体制を整えていきたいです。</p>

<p>事業内容</p>	<p>1 事業内容</p> <p>① 子ども達の好奇心を育み親子で一緒に参加できる夏休みワークショップ ・地域の大人達が講師となるワークショップの開催 (調理・農業・運動・音楽など幅広いジャンルの各専門家に依頼) ・参加方法は各家庭の都合やその時の社会情勢に合わせて選択が可能 (近隣施設での講座・ZOOMを使用したオンライン講座・動画配信など)</p> <p>② 子ども達と子育て世代の居場所づくり (月 1.2 回程度) ・子ども達と親子の遊び場の開催 ・クリスマスフェスティバルで披露するパフォーマンスの練習 (音楽・ダンス・マジックなど)</p> <p>③ 従来の親子参加型イベントに子どもが達成感を得られるコーナーの追加 ・夏休み→夏まつり会場でワークショップで作成した作品の展示会 ・冬休み→クリスマスフェスティバルでパフォーマンス発表会</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="443 819 1406 1350"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4～7月</td> <td>イベント準備・講師・スタッフ・会員募集</td> <td>リーフレット・チラシ作成、配布・講師打ち合わせ講座準備</td> </tr> <tr> <td>7.8月</td> <td>① 夏ワークショップ ② 夏まつり開催</td> <td>サポセンや近隣の施設など(講師/外部6名、ママ4名・見守り10名)</td> </tr> <tr> <td>9～12月</td> <td>② 居場所の開催</td> <td>サポセンや施設(月1.2回・パフォーマンス講師3名/見守り12名)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>イベント準備・出展者や協賛者の募集、周知</td> <td>チラシ作成、近隣の教育施設や商店どへ配布</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>③ クリスマスフェスティバル開催</td> <td>サポセン、音響設備が整った施設(イベントスタッフ10名)</td> </tr> <tr> <td>1～3月</td> <td>ふりかえり</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4～7月	イベント準備・講師・スタッフ・会員募集	リーフレット・チラシ作成、配布・講師打ち合わせ講座準備	7.8月	① 夏ワークショップ ② 夏まつり開催	サポセンや近隣の施設など(講師/外部6名、ママ4名・見守り10名)	9～12月	② 居場所の開催	サポセンや施設(月1.2回・パフォーマンス講師3名/見守り12名)		イベント準備・出展者や協賛者の募集、周知	チラシ作成、近隣の教育施設や商店どへ配布	12月	③ クリスマスフェスティバル開催	サポセン、音響設備が整った施設(イベントスタッフ10名)	1～3月	ふりかえり	
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																				
4～7月	イベント準備・講師・スタッフ・会員募集	リーフレット・チラシ作成、配布・講師打ち合わせ講座準備																				
7.8月	① 夏ワークショップ ② 夏まつり開催	サポセンや近隣の施設など(講師/外部6名、ママ4名・見守り10名)																				
9～12月	② 居場所の開催	サポセンや施設(月1.2回・パフォーマンス講師3名/見守り12名)																				
	イベント準備・出展者や協賛者の募集、周知	チラシ作成、近隣の教育施設や商店どへ配布																				
12月	③ クリスマスフェスティバル開催	サポセン、音響設備が整った施設(イベントスタッフ10名)																				
1～3月	ふりかえり																					
<p>既存の事業からステップアップする部分 (ステップアップ助成のみ)</p>	<p>平成 30 年度、前年度とコロナ禍において縮小せざるを得ない状況もありましたが、活動の中で子ども達がのびのびと楽しく、安全に過ごせる学校や家庭以外の居場所の需要と必要性を実感しました。今までの事業をさらに定着させつつ、また、コロナ禍で閉塞感漂う今だからこそ、子ども達のメンタルヘルスを最優先できるような居場所を確立し、継続的に子ども達と子育て世代の家庭と繋がっていけるようにしていきたい。そして、今回のような未曾有の事態が起きても、柔軟に、新しい生活様式においても対応できるように、参加スタイルに選択肢をもたせるようなシステムの構築を目指したい。</p>																					
<p>事業の目標</p>	<p>① 講座、ワークショップへの参加人数=80 人 ② パフォーマンスグループ=1～3 グループ (延べ 15 人) ③ イベント延べ参加人数=500 人</p>																					
<p>今後の展望</p>	<p>この事業を通して、なないろのもりが日常的に子ども達や子育て世代を中心に安心して通える居場所、また地域の様々な年齢層の方々とつながれる場所として定着し、年齢も環境も様々な人が集まる場所でコミュニケーション能力を育む機会を持つことで、子ども達は視野を広げのびのびと成長し、親も同様に様々な多様性に目を向ける機会を得ることで、広い視野で子育てでき、我が子の良いところを再発見し、楽しく子育てできる街にしていきたい</p>																					

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科目	金額	積算内訳
団体	事業収入	¥ 20,000	会員年間登録料1000円×20名 (保険料含む)
		¥ 80,000	ワークショップ参加費 1000円×80名
		¥ 12,000	夏まつりあそび券300円×40名 12000円
		¥ 56,000	サポーター年間登録料 個人1口2000円×8名 企業1口5000円×8名
		¥ 30,000	居場所 パフォーマンススレッズン講師料500円×4回 15名
	自己資金の合計額 (A)	¥ 198,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 498,000	

【支出】

	科目	予算額	積算内訳	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 194,000	ワークショップ外部講師謝礼10000円×6名 ママ講師謝礼5000円×4名 居場所・イベント外部パフォーマンス講師謝礼5000円3名×4回 見守りスタッフ謝礼2000円×22名 イベントスタッフ謝礼1000円×10名	
	委託料	¥ 25,000	イベント・宣伝チラシデザイン制作費5000円×4 イベント装飾製作費5000円	
	消耗品費	¥ 110,500	動画撮影用照明9900円 動画撮影用三脚9900円 プリンターインク8000円×3 イベント消耗品10000円 (ガムテープ養生テープ他) 夏イベント装飾10000円 Xmasイベント装飾10000円 模造紙3000円 コピー用紙1500円 カラー用紙110円×20部 感染防止対策グッズ30000円 (消毒液10000円 予備マスク2500円 体温計5000円 透明シート・支柱他)	
	印刷製本費	¥ 51,100	イベントチラシ夏・Xmas・居場所 (4000枚) 26000円 イベント会場案内 (外看板) 横断幕12100円 なないろのもり年間リーフレット (2000枚) 13000円	
	使用料及び賃借料	¥ 38,000	イベント打合せ・準備施設使用 動画撮影施設使用 (多目的ホール他) zoom有料版使用料2200円×6ヶ月	
	保険料	¥ 14,000	イベント保険 全イベント延べ500人×28円	
	食糧費	¥ 10,200	ワークショップ参加者 水100円×80人 ワークショップ・居場所 全講師 お水100円×22人	
		対象経費の合計 (D)	¥ 442,800	
	その他経費	報償費	¥ 23,000	内部講師料3000円×1名 見守り内部スタッフ料2000円×5名 (2回)
食糧費		¥ 8,200	イベントスタッフお弁当500円×10名 お水100円×32名	
交通費		¥ 9,000	イベントスタッフ交通費500円×10名 ガソリン代1000円×4名	
通信費		¥ 15,000	連絡・雑務3000円×5名	
		その他経費の合計 (E)	¥ 55,200	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 498,000		

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。